

関係者各位

令和2年2月25日

ミッドリーム日本語学校

校長 山田 貴彦

3月の「授業継続」と「自宅待機」について

各種報道でご存知のように、12月以降新型コロナウイルス感染症の発生が報告されて以来、日本をはじめとして世界各地から報告が続いています。都内でも集団発生や感染経路の不明な患者報告がありました。このような状況下、本校でも中国からの入国者への休学措置や、校内でのアルコール消毒の推奨などの対応策を打ってきました。

現在国内での発症者はわずかではありますが、今後感染拡大する恐れが十分にあると判断し、本校では理事長・校長を座長とする協議や検討を行いました。その結果、以下のような対応を取ることを決定しましたので、お知らせします。

1. 2020年3月2日～3月19日については、年間スケジュール通り授業を実施する。
2. 感染が心配な学生については、この期間自宅待機をすることを認める。
自宅待機の期間は休学扱いとするが、詳細については別途定めて連絡するものとする。
3. 課外活動と卒業式については自由参加として、参加を強制しない。
(※社会情勢が変われば、中止とする可能性もあるが、現段階では実施予定である。)
4. 3月中に本校関係者から感染者が出た場合は、上記とは別に臨時休校などの対応を取る可能性がある。
5. 4月以降の授業については、社会情勢を見た上で3月末ごろに方針を決定する。

今回の決定は、「新型コロナウイルスは心配だが、勉強は続けたい」という学生と、「新型コロナウイルスの感染が心配で、勉強はできない。」という両者の意向を汲むことを目的として行いました。関係者の皆様におかれましては、上記内容へのご理解・ご協力をお願いいたします。

また、社会情勢の変化に合わせて柔軟に対応方針を変えていきたいと思っております。その方針については、HP上に随時公開していきますので、ご覧いただきますようお願いいたします。

以上